

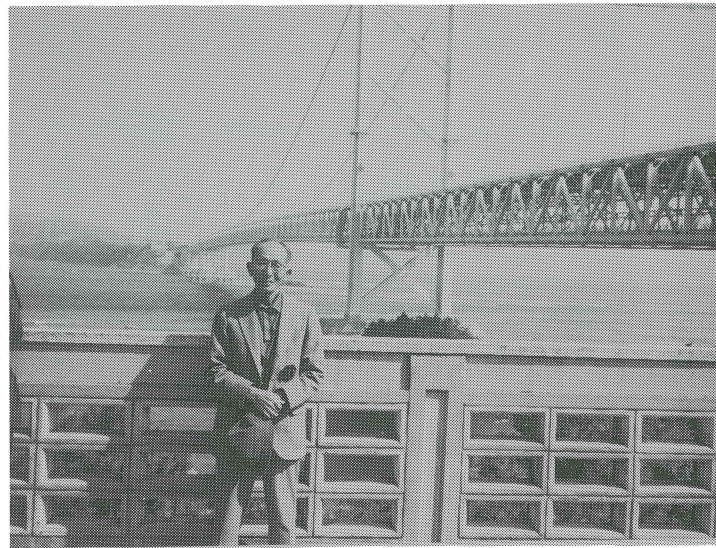
船倉に転がりこんだ一同は、そのまゝ、死んだように寝込んでしまひ、魚積室の臭いなど全然問題ではなかったようだ。

上下左右に大ゆれの漁船が静かになり、外を見ると明石港に入ったのか、赤色の航路灯が見えた。やれやれこれで助かったと喜んだ

ことも、よく覚えている。

今回、大鳴門橋に向うバスの方があれば、会の方か、私まで知らせて下さい。再会の機会を持ちたいと思います。

(61. 11. 11記)



辰巳会本部旅行 大鳴門橋と岡本 61. 10. 16.

◆原稿募集
内容 随想 短歌 俳句 詩 写真 鈴木往時の思い出などを
必ず原稿用紙に縦書で
四百字詰五枚程度
昭和六十二年五月末日
神戸市中央区京町七二
太陽鋳工(株)内
『たつみ』編集部宛

物 故 者 名 簿

61.12.10現在

御 芳 名	死亡年月日	享年	最終勤務先
泉 隆 一	北九州市 54年4月4日	93才	本店
長 橋 政 男	神戸市 60年12月25日	82才	日輪ゴム
鳥 居 健 健	東京都 61年8月14日	90才	香港出張所
橋 本 賀 一 郎	大阪市 61年9月28日	83才	下関支店
下 雅 意 亀 吉	大阪市 61年11月4日	91才	鳥羽電機
南 多 魯 男	狛江市 61年12月2日	83才	帝国汽船
藤 岡 清 俊	横浜市 61年12月8日	79才	日本発条

辰巳会会便り

石本 照子
秋風さわやかな好季節でござ居ます。扱、昨日はたつみ45号を送り下さいまして有難うござ居ました。何時も数ならぬ私にまでお送り頂き厚く御礼申し上げます。辰巳会員皆様様の御健康をひとえにお祈り申し上げます。

(故喜久次氏夫人)

市川 浜子

たつみ第四五号お送りいただきありがとうございます。故日商岩井相談役西川政一様の思い出の数々に、亡き主人が元気にして居りましたら、きつと思ひ出深く拝見した事と思ひます。六十一年に早や十人も亡くなって居られ、本心に心淋しい事でございます。皆様の御冥福を祈りつゝ、御礼まで。

(故市川恒雄氏夫人)

宇土 芳郎

皆様ご健勝の事慶賀に堪えませ

ん。さて先日はたつみ第45号ご恵送頂き有難く拝謝申し上げます。初めから終りまで詳細拝見、ご在世の方々のご健筆細大洩らさず拝読致しました。この次には老骨も掲載下さることに印刷を楽しみにして居ります。不取敢御礼申し上げます。

越智 栄

ようやく秋涼を楽しむ季節となりました。過日はたつみを有難うございました。

昨秋、おみ足のご不自由おしりて篠山までおつれ頂きました柳田様は、この頃大方おひきこもりと承り御案じ申し上げます。どうかますます俳句のさえを誌上に発表されますよう念願いたします。先づはお礼まで。

岡本マリ子

いつも『たつみ』をお送り頂き本当に有難うございます。父(中島啓一)が亡くなりまして足かけ二十三年になります。たつみを読ませて頂くと往年の父を想い出し、帝人とお世話になっ

小川多喜子

今日は亡き大屋様、大幡様、小野様、又お元氣な煙石様等、父の口から聞いたかずかずの思い出を偲び、本当になつかしく帝人とは何か切っても切れないご縁かと存じます。

昨日は真に有難うございました。幸、快晴にて思わぬ楽しい時を過ごさせて頂きました。

十数年振りに見る淡路の風物に、バスの中より感心して居りました。ところが、あの大鳴門橋には驚嘆致しました。そして海の色、潮の流れ、宿のお料理と感嘆の連続で、『淡路ってこんなによい所』と感心しました。こゝは淡路ではありません。徳島ですと迎える宿の車の方に云われ本当にはるるよくも来られたものと改めて感心しました。先づはお礼まで。

小林 俊夫

たつみ45号お送り頂きありがとうございます。六甲の山々もぼつぼつ色付きそめることとなりました。幹事を始め皆様のご健康をお祈りします。

鈴木佐賀子

只今は御誌『たつみ』第45号お送り頂きましていつも乍らありがたく厚く御礼申し上げます。

此度は、東京支部にて大変お世話様に相成りました西川様のご逝去に接し、思い出も深く誠に悲しみの極みでございます。

亡夫(丸衛)も本年この十月十九日は七回忌を迎えます。定めしその後の辰巳会のお話しなどいろいろ伺わせて頂いている事でございます。心よりのご冥福をお祈り申し上げます。早速仏前にお供えさせて頂きました。先づは御礼まで申し上げます。

武内 雪恵

良き季節となりました。たつみ誌ありがとうございます。お恥しい句を出して頂きほんとうに厚く御礼申し上げます。下手な句で汗顔のいたりですが、一生懸命、作句に精出して居ります。ほんとうに有難う存じました。

田中 いと

たつみ誌を主人なき後もいつもお送り頂き有難う存じます。坂本寿様のわが人生、もしあの時の『もし』という御言葉に感激し筆をとる気になりました。私共も高知県人ですので、久しぶりになつかしい土佐ペンに、ふる里を思い出しました。

今思い出しても遠い遠い昔の様な気がしますが、主人(実)は大正十三年、満洲開原の出張所に行き、一年余りでお店を閉鎖し、昭和二年、ハルピンで又一生わすれられない思い出となる日が来しました。帰国して二十年の月日が流れ、戦後の世の中も次第に落着いた時、シミジミと過去をふり返り、人の運命、人生を考えた時もありました。坂本様のもし『あの時』に感激しながら、お礼も申さず、ぐずぐずして居る内に紅葉の秋となりました。毎朝中国残留孤児の肉親さがしが、テレビに放映されるのを見て、日本では想像も出来ないはてなき広野で、零下三〇度の寒さ、又飢の中、想像し涙が出ます。皆様どうか肉親の方にめぐり会われますようお願いいたします。

長年のつもるお礼おくれながら申し上げます。

樽谷 誠太

清涼の候となりました。たつみ45号をご恵送下さいました。有難う存じます。

皆様のご近況を亡父(勳三郎)の霊前にお供え致しました。いつも楽しみに待っておりました御誌を拝見してさぞ喜んでおることをごさいます。来る十一月に三回忌を迎えることになり感慨ひとしおでございます。皆様のお苦勞を心から深謝いたします。

西川 明子

初秋のさわやかな頃となりました。いりました。この度は『たつみ』45号をお送り下さいまして、誠に有難うございました。主人在世中よりいつも一方ならぬお世話様になりました。厚く御礼申し上げます。植田様、斉藤様のお寄せ下さいました、追悼文、そしてバレーボールの写真など、感慨一入、拝見いたして居ります。また皆様からの折々のお便り、御

長寿の方々のアンケート等々、楽しく拝見させて頂く事でございます。今後共何かとお世話様になりますことと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。一筆とり敢えず御礼まで申し上げます。

福永 千代

漸く秋も深まってまいりました。この度はたつみ45号をわざわざお送り頂きありがとうございます。皆様方のご近況を亡夫(俊一)の仏前にお供え致しました。さぞやよろこんでいます事と存じます。私も楽しく拝見させていたゞきました。皆様のご健康を心からお祈りいたします。

福本 三郎

晩秋の頃となりました。何時もお世話になります。柳田様より、米寿記念俳句近作展の印刷を頂きました。私、目下健康を害して参れませんが、JTBに勤めて居ります二男に拝見に行くよう申しました。陳舜臣さんの序文もあり御立派だったと連絡がありました。

米寿盃浮き寝の醒めぬ渡り鳥、はご感慨かとも存じました。御高令益々のご健勝を祈念申し上げます。

松井 竹代

おなつかしい御誌45号拝受有難うございました。九〇才以上の皆様の御文面拝し、私もぜひ皆様の様にと嬉しく長寿を願って居ります。只今のところ、医者には用なく、たゞ夕食後、太田胃散と目薬をさし、九時に床につき朝四時に嬉しさいっぱいで目をさまします。五時過ぎ門前の花と葉をはき清め、朝食は六時過ぎに致します。朝食後、たつみ誌、朝日、読売新聞を読みます。午前中、晴天のときは、庭の花、植木の手入れを致します。自動車があぶないので外出はいたしません。たまに墓参に嫁と参ります。

謡曲だけはよくおうたいしますので、近所の方には元気でいると、おわかりのようです。誠に乱筆、思いつき御許し遊せ。(もうすぐ87才になります。)

辰巳 だより 会報

昭和三十二年十月十六日 鳴門観潮・鳴門大橋見学 及 霊山寺参拝

幹事 小倉 五郎

みなさんノお早よう御座居ます。こんなに早くお集り頂いたのは初めてと存じますが、何分にも今回の計画の目玉と申しましょうか、鳴門観潮には文字通り、潮時と云うものがあります関係上、敢えて、こんなに早くお集り頂きました次第でありまして、不悪御諒承頂きたいと存じます。

処で、観潮は出来れば橋上より、又展望台より壮大な様を満喫して頂きたいと存じます。尚、その後は御案内申し上げました通り、若山料亭にて鳴門の幸を充分満喫して頂いて、その後、四国八十八ヶ所の霊場一番の札所霊山寺参拝の上一路帰神に就く予定となっております。

尚本日は、鈴木会長が御出席の予定となっていたのですが、

緊急な社用の為残念乍ら欠席となりました。その反面、元日商岩井の神戸支店長であられました、中嶋儀一郎さんに御出席頂いております。この中には中嶋さんとは旧知の方が可成居られると思いますが、現在は日商岩井社友会の大坂支部長として、会員のため数多の分科会を指揮して日夜大活躍をしておられますので、後程会食時に一言御感想など頂きたいと存じております。尚、会務報告もその折にと存じたのでありますが、帰りのフェリーの時間が決まって居ります関係上、時間的余裕があまりありませんので、引き続き会務を御報告申し上げます。

と云って今回は取り立て、申し上げる事は何も無いのでありますが、来年の行事について予告を申し上げます。

先ず、新年の例会でありますが大体一月の二十日過ぎと考えていますが、場所等は未定です。寒い折柄、暖い場所で和食又は支那料理で実施したいと考えておりますので、お含み願います。

次に来年の全国大会であります。が去る五月の京都の大会で申上げました通り、構想としては祥竜寺

において、お家さんの五十回忌の法事を務めると云う事は既に決定事項でありましたが、日取りは四月十四日の火曜日と決定されましたので、御報告申し上げます。尚、時間その他詳細については未定でありますので決定次第追って御報告申し上げます。

次に「たつみ」誌四十五号についてであります。既に御落掌頂いた事と存じますが編集子がへあとかきで一寸嬉しい悲鳴を上げる程原稿を寄せて頂き、一部次号に廻さざるを得ませんでした次第、厚く御礼を申し上げますと共に今後とも何分宜敷投稿の程御願ひ申し上げます。尚、本号郵送に際し「暑中見舞」の広告料の振込用紙を同封致しておきましたので、お手数乍らお忘れなく折返し程お願ひ申し上げます。

それでは最後に去る五月の全国大会以後に御連絡のありました亡くなられました会員の方々を御報告申し上げます。

- 六・五・三 於京都市寺泉漏寺全国大会以後
五・二・四 広島市 田中次郎 公
五・二・四 ベイカルカッタ大連支店
五・五・二 姫路市 河野九郎 公

- 帝國汽船(株) 五・四・四 北九州市 泉 隆一 三
本店
五・六・五 北九州市 新海 元 五
五・三・三 神戸市 猪井爲一 八
雑貨部
六・二・六 茨木市 深川 清 三
帝國炭業(株) 下関支店
五・二・二 尼崎市 岩瀬聖一 八

- 生糸絹織物部
六・四・四 東京都 西川政一 八
元日商岩井社長
六・四・四 神戸市 畑 薫 八
本店貨物課
六・七・七 神戸市 中村元義 六
東京支店輸入木材課
六・六・六 豊橋市 久保勝資 八
桜麦酒(株) 東京大阪支店
六・七・七 東京都 市川恒雄 三
神鋼ファウドラ(株)
六・二・四 東京都 鳥居 健 三
香港出張所
六・九・六 大阪市 橋本賀一郎 八
外国発信部下関支店
以上十四名の方々であります。その内、五十八年暮迄の五名の方々につきましてはこの度名簿更新の関係もあつて、九十才以上の方々に對して近況その他についてアンケートを求めました処、御家